



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和8年2月①
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



◆仏教婦人会の「利行」ご報告

仏教婦人会の皆様による、簸の上園での布切りボランティアがありました。(昨秋のことで、ご報告が遅くなり失礼しました。)

たくさんの皆様がはさみでチョキチョキと切り分け、短時間で園で使っていただくウエスができました。



後日、簸の上園からのお礼状をいただいていますのであわせてご報告致します。



◆自灯明 法灯明

80歳となったお釈迦様が最後の旅の途中、重い病にかり、激しい苦痛に襲われます。長く仕えてき弟子の阿難あなんが「もしお釈迦様から教えを頂けなくなったら、何を頼りに悟りを求めていけばいいのですか」と問われました。

お釈迦様は「阿難よ、私はもうすべてを教え尽くした。これからは自分自身、そして真理の教えである仏法を灯明としなさい。」と話されました。これが自灯明法灯明という教えです。

2月15日はお釈迦様のご命日です。

真の教えを求めない自灯明の一人歩き、つまり「他人の価値観に流されず、自分の気持ちを大切にすること」といった間違った解釈を見聞きすることがあります。煩惱にまみれ、四苦八苦する私たちであることを自覚し、正しい教えを道しるべとしながら自分自身を抛り所とすることを涅槃会の機会に気づき直したいと思います。

自
灯
明
法
灯
明

一品運動協力お願い

定例ではありますが、皆様からの善意の品をお寄せいただきますようご案内致します。高齢者福祉施設などもありますが、支援が十分でない更生施設へお届けします。

この寺報発行以降、お彼岸明け頃までをお願いします。なお、右下に間接支援について附記しました。

施設の暮らしを直接支援するもの

レトルト食品、缶詰など保存食品
調味料、インスタント食品、米 等々(消費期限内)

洗剤、ティッシュ、トイレトペーパー
洗剤、タオル 等々

間接的に支援するもの

該当施設は定期的にバザーを行っています。昨秋、鍋(未使用)など届けたところ、たいへん喜んでいただきました。

自分は使わないけど捨てるにはもったいないものがあれば届けます。